



Gardens of Galaxy

"Fate/GrandOrder"
respect book
for adult only

全宇宙の
セイバー（自称）達が鎧を削る
サーヴァント・ユニバースに
迷い込んだ俺は——

元の世界に還る為に
三人のサーヴァントと共に
旅を続けていた

しかし
今——

早急に解決
しなければならぬ
問題が発生した

これを解決せずして!!

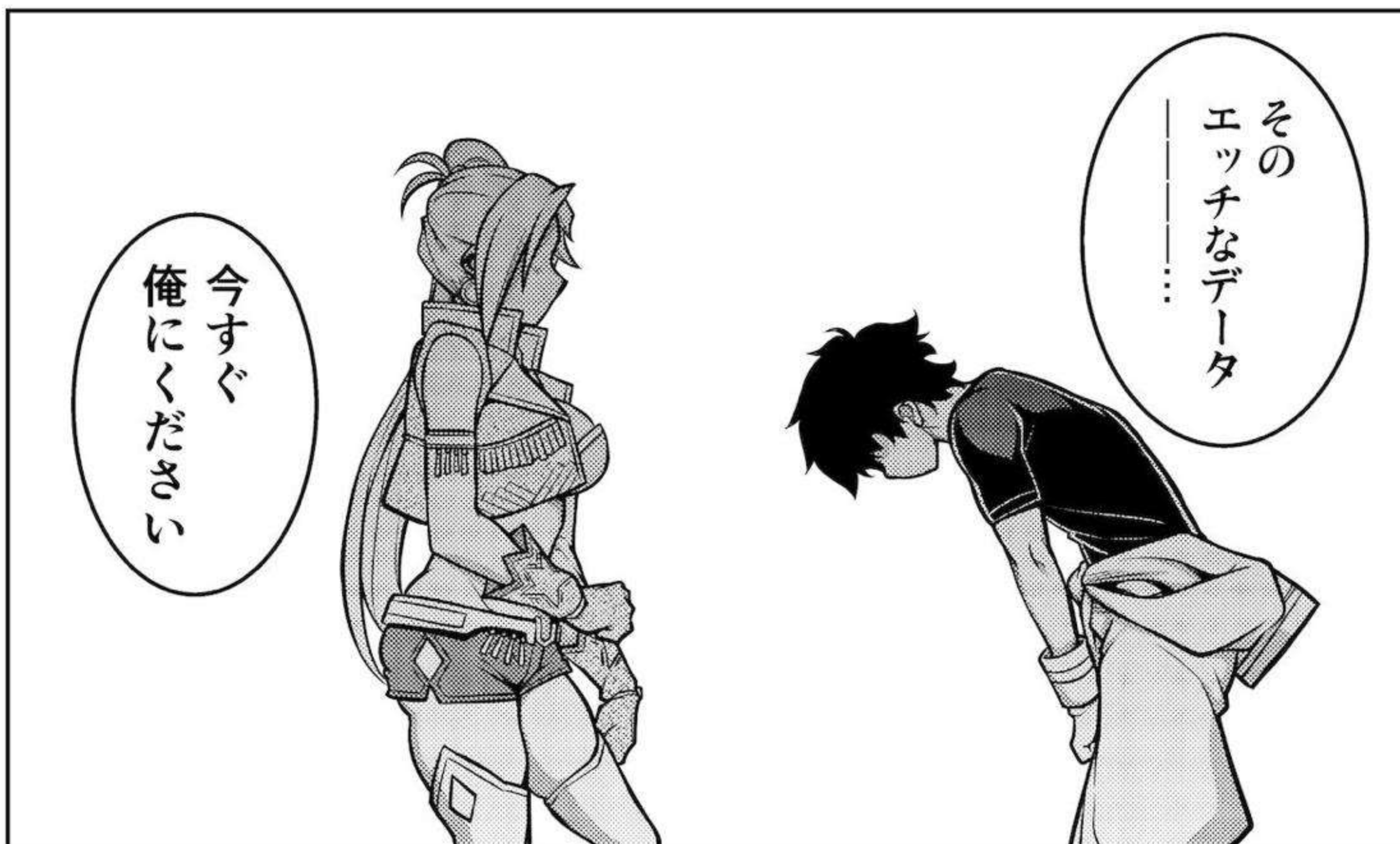
俺は前に進めないツ!!



ナニナニ〜？
マスター欲しいモノ
あるの〜？

エツちなデータ
とか――

ください



その
エツちなデータ
――

今すぐ
俺にください



言って
しまった…

沈黙が
ツライ…

流石のジエーンも
コシは引くよな…

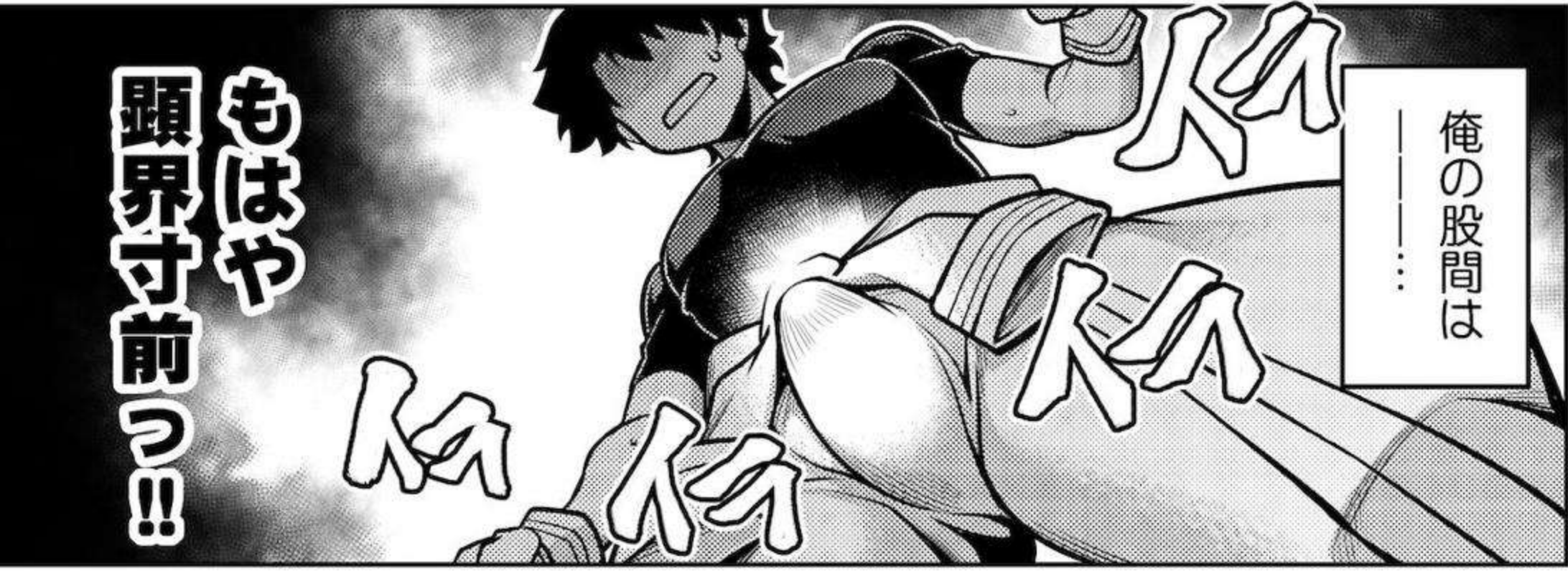


でも…
仕方がない
んだ…っ

この宇宙船は
狭い上に女所帯…

それも
洗っついて？

彼女達の無防備な
振る舞いは健全な
男子の俺には刺激が
強く…



俺の股間は
…

もはや
顕界寸前っ!!

一刻も早く
処理しなければ
ならないが…

かと言つて寝食を
共にする彼女達を
オカズにするのは
正直気が引けるし…

オツケー
用意するから
コツチ来て♡

え…
あ…うんっ





正直断られると
思ったけど
助かったよ…

他の二人と違って
ジェーンは話し
易いというか—

カキヤ
カキヤ



て…！
なにしてるの
ジェーンっ!?

♪

何って—

これから
マスターと
エッチするの♡

ええ!?



なななな…
なんで…?

だって元々
データなんて
無いんだもん





わあっ!?

えい♡



そんな...
ほ...本気...?

それでどうせ
性欲処理が目的なら
実際にシてみるのも
良いかなって☆



マスタ
魔力供給
生身の人間との
生殖行為...♡

フフ:
実は前から
興味あったの...

エーテルから自然発生する
ユニヴァースの人間の間には
生殖の概念が無い...



この機会に...

イタダキ
マス♡







スゴい…
精液ってこんなに
魔力濃いのか…?

アッ

ゴク…

アッ

※SCBなんて
目じゃない
かも…っ!?



アッ

あ



—っ
ごめんジェーン
平気!?

アッ

アッ

ん…大丈夫…

ジェーン…
この後は…?

こんなの
生殖器系に
注がれたら
わたし…



うん…
うん…

ハイ…
来て…
マスター…



ユニヴァース初の
懐胎サンプルに
なっっちゃう…♡



は...挿入った...
挿入ったよ...
ジェーン...

う...うん...
感じるよ...
マスター...♡

みち

ん

みち

マスターの...
肉厚のシヤフト...

お...膣奥まで
挿入ってるの...
判る...♡

ん



ん

ん

ん

あ

あ

ん

ん

ん

ん

ん

ん



シてる…俺…
ジェーンとSEX
シてる…っ♡

張りのある
アメリカンおっぱい
揉みしだきながら…

ホカトロのマ○コ肉で
チ○コ扱きあげてるっ♡

ヤ…ヤバいよ
ジェーン…
滅茶苦茶
気持ち良い…♡

アハ…
泣く程良いんだ…
嬉しいな…♡

うん…
私もすっごく
気持ち良い…♡

びくっ

あん

びくびくっ

うあん

あっ
もいっ

もいっ

あん

はっ

はっ

はっ

ちやん

ちやん

ちやん

ちやん

○

○

○

あん…ん♡
不思議…♡

こうしてマスターに
おっぱい揉まれてる
だけで…

全身から力が抜けて
蕩けてくみたい…♡



はっ♡

ほっ♡

コレ…良いよ
マスター♡

こんな
エキサイティングな
ロデオ初めてっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

俺：
ジェーンに
相談して
良かった：

あーっ

あーっ

あーっ

本当ならばリネタもらう
だけのつもりだったのに
こんな贅沢な肢体からだを
直に味わえるなんて：

んんん

んも

んん

んん

んん

マスターあ
んんんんん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

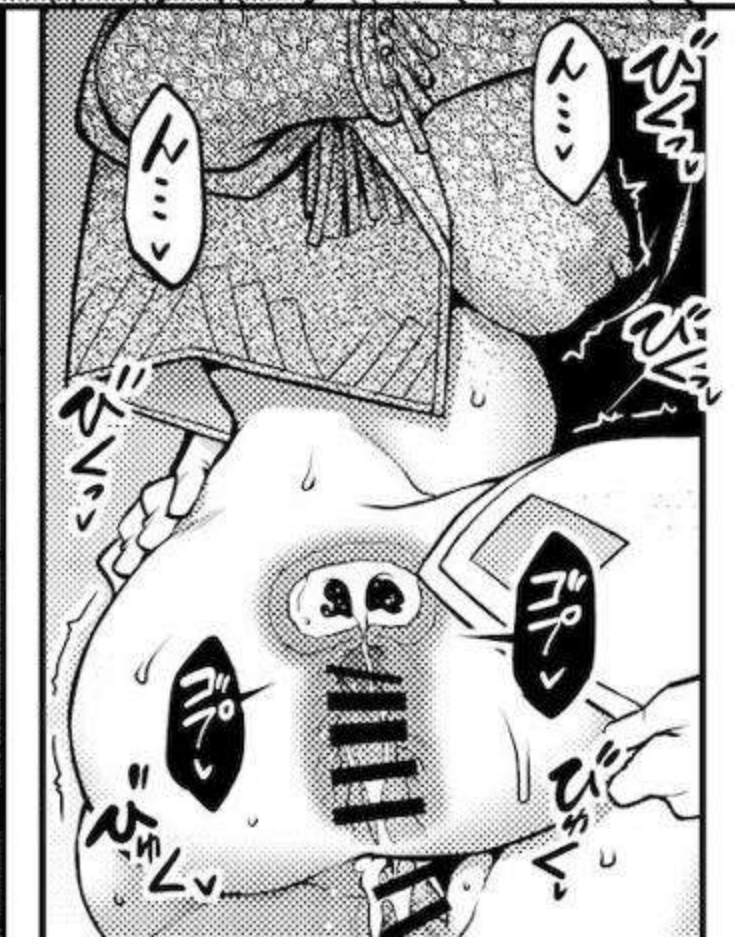
んん

んん

んん

んん





この後も
ジエーンは俺が
求めればいつでも
応じてくれた

彼女自身
靈基に刻まれた情報でしか
知り得なかった性の悦びに
ハマったらしく

時には向こうから
誘ってくれた…

年頃男子の性欲を
刺激する肉感溢れる
グラマラスボディ

それが好きな時に
好きなだけ抱ける
日々…

当初の悩みは
コシで解消されると
思われたのだが…





悩み：
ですか…

てっきり私と
マスター君との間には
ある程度の悩みの
一つや二つ…

打ち明けてもらえら
くらしいの信頼が
あるものと思っ
て
ましたが…

どうやら
私の一方的な
勘違いだった
みたいですね

そ…そんな事は
ないよ…っ
俺はXの事—

…ん？

エ…X…？

それって…
もしかして…

……

……

もじもじ…

……

……



ハハ：
マスター君
てば：

目が…
血走ってて…
怖いですよ…

あっ
あっ
あっ
あっ



し…仕方ない
だろ…っ

×がそんな…

そんな
エツちな顔
するからっ



ほっ

ズキズキ

ズキズキ

ズキズキ

ズキズキ

ズキズキ







すっ…い…
です…う♡



マスター君の…
濃厚な魔力が…

オマ○コから
溢れ出て…♡



X…俺…
もっとシたいっ

え…？

もっとエッチな
Xが見たいっ



そこまで
頼まれては私も
やぶさかでは
ありません…♡

ヒロインを
名に冠する者の
貫禄を魅せて
あげますよ♡

X♡
ありがとう…



し…しようがない
ですねえ…

くち…

一時間後



も…もう
何度も
イカされて…

霊核に…
響く…



大丈夫…
ジェーンに
鍛えられてる
から…

え…
うええ!?

サーヴァント
相手にするんだから
当然だろ…っ!?



あ…あの…
マスター君
…?

そ…そんなに
続けては…もう
体力が限界では…?



ほ…ほら…
私達…

これから…
いつでも機会が
ありますから…



マスター君の…
タフネスさは…
こ…今度
あらためて…

ゆ…ゆっくり
披露…して…



ですから…
き…今日は
このへんで…

お互い…き…
休憩を…おほ♡



だから俺…
Xが満足するまで
頑張るから…っ♡

い…いや
マスター君…
あまり無理は…あ♡



Xっ
また射精るっ♡



あッ
びゅる
あッ

あッ
あッ





せっかくだし
私も
混ざろっかな?

まあしよーが
ないか…

えっ?



だってマスター
まだ満足して
ないでしょ?

そ…
そうだけど
良いの…?



もう…
駄目じゃない
マスター?

サーヴァント
相手だからって
無茶させるなんて…

ご…ごめん…
つい夢中に
なっちゃって…



ああ…
ジエーン…♡

ジエーン♡



良いよ♡
Xが起きるまで
相手してあげる♡







ふん
あぁ

ふん
!?

な...
なにしゃがる
のよアンタらっ!?

この際イシユタルにも
マスターとの付き合い方を
経験して貰おうかと



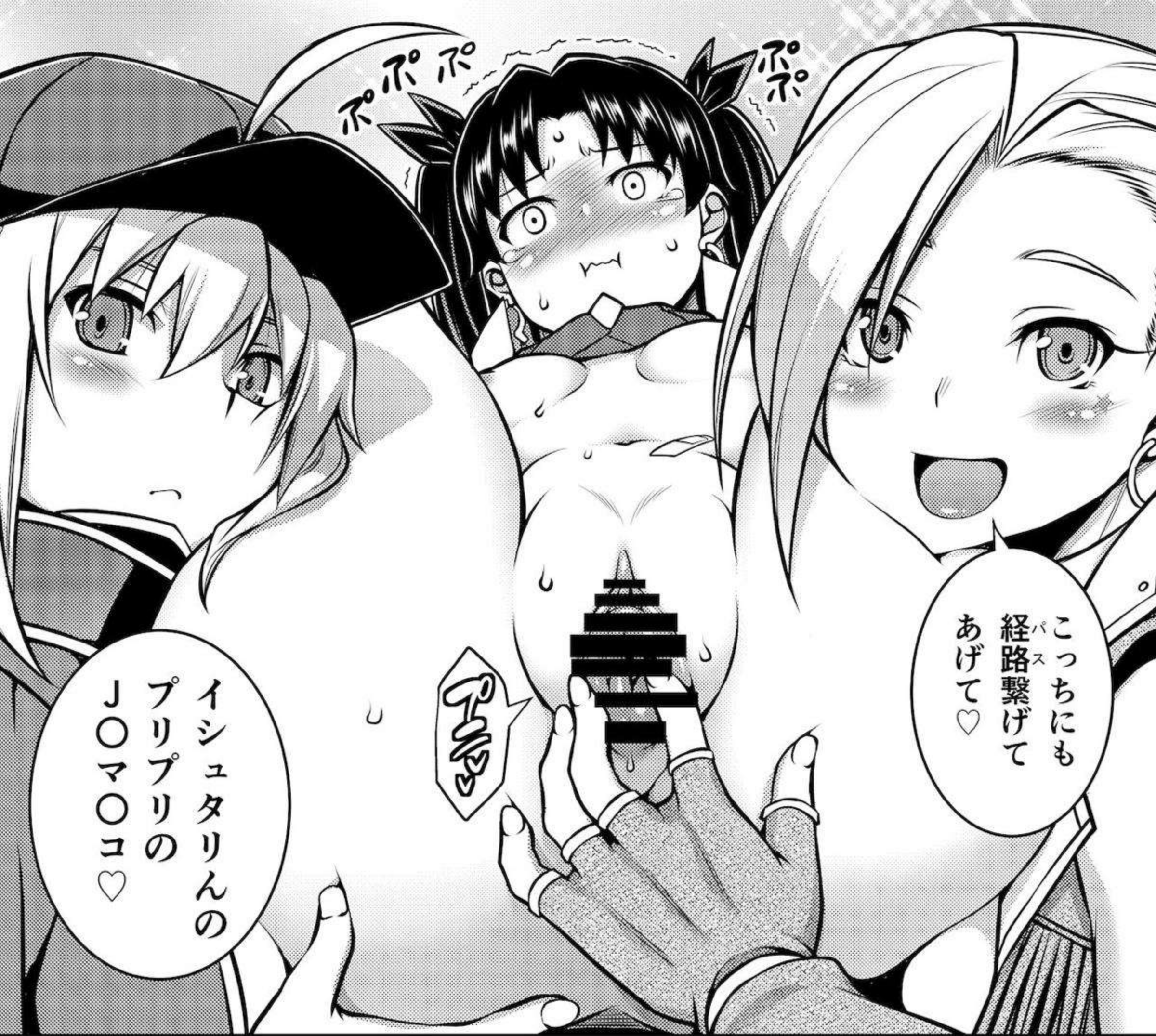
ぶっちゃけ
イシユタリんだけ
仲間はずれは
気が引けるしね♡

そ...そんな気遣い
...いら...ないから...っ
...降ろしなさいってっ

マースター♡

ふん
ふん

ぽた



イシユタリんの
プリプリの
JOマッコ♡

こつちにも
パス
経路繋げて
あげて♡

RINGS

ぽぽぽ

ぽぽ



ちよ...
ひああっ!?

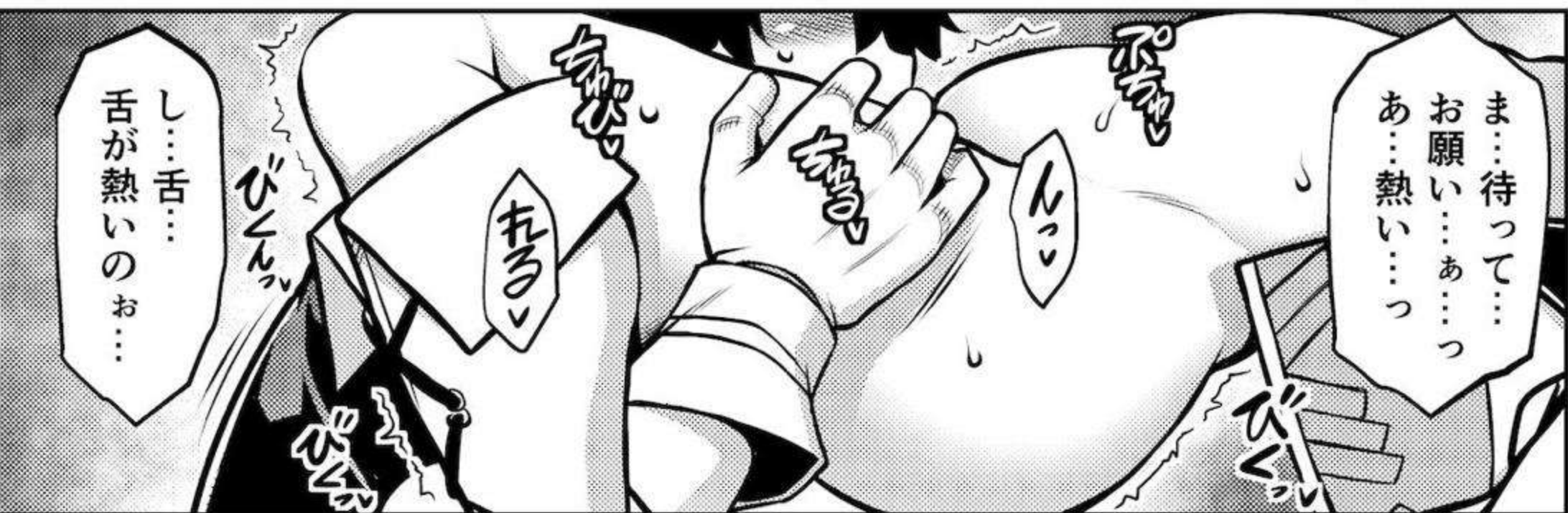
ぽぽ

ぽぽ



あ...

は...





ほ…本気で
ソレ…挿入れる
の……？

うん…

む…無理でしょ…？
そんな…太くて…
大きいの…ねえ…？

ふる

ふる



大丈夫だよ
イシユタル…

最初は痛い
かもだけど…

は…

は…



すぐに
馴染むから…

しゅん



あ…

あ…

あ…



びく
うああ

あ…

びく

びく

あ…

あ…



う…嘘…っ
本当に…
挿入っちゃった…!?

なか
腔内でなんか…
裂けたんだけど…?!

コレ…本当に
大丈夫…なの…?!

うん…
大丈夫…っ



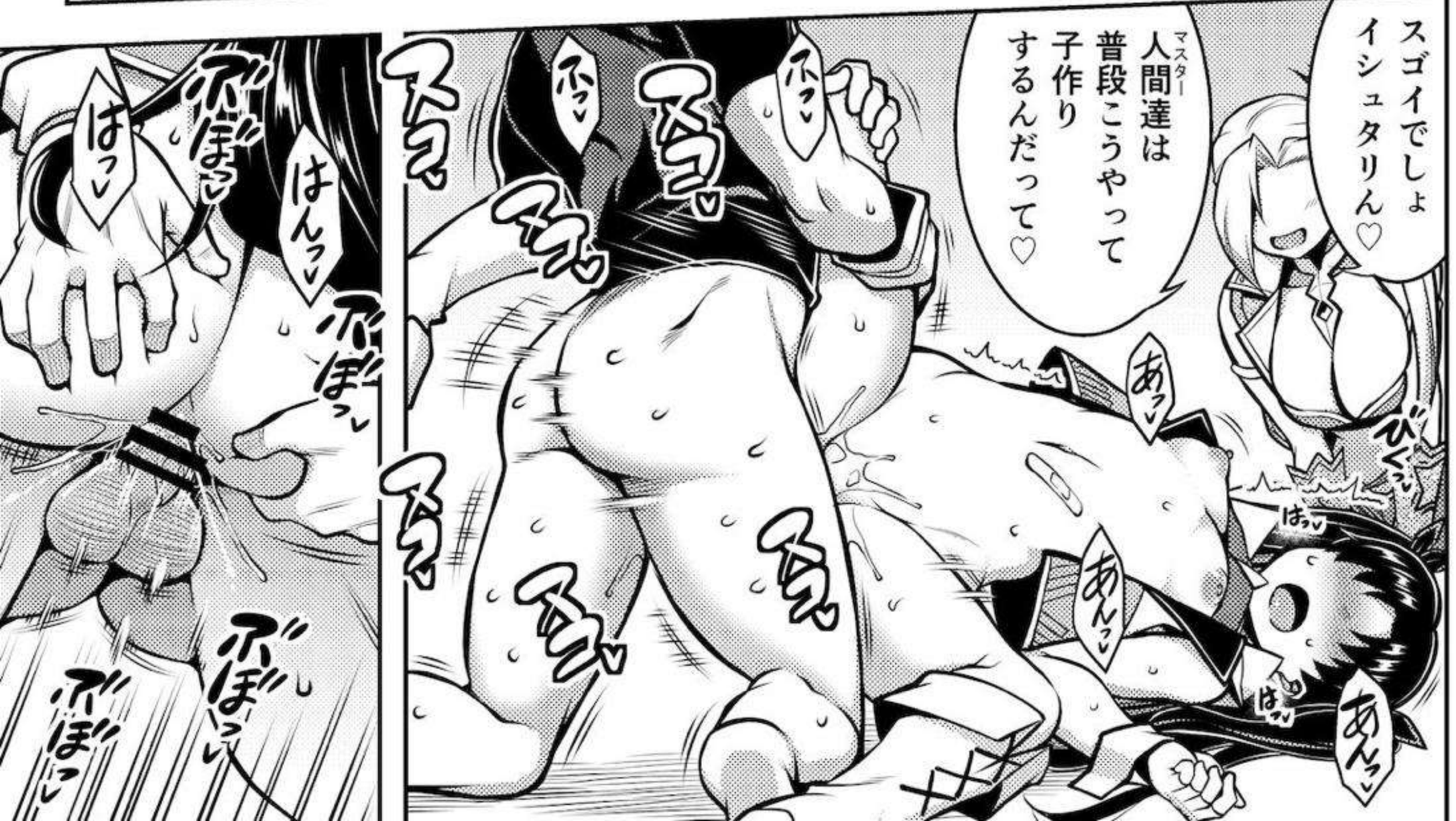
絞り取る構造に
出来てるんだ…っ♡

扱きあげて
ザーメンを…っ



女の子の
オマ○コは…

こうしてチ○コを
包み込んで…



スゴイでしょ
イシユタリン♡

マスター
人間達は
普段こうやって
子作り
するんだって♡



あーっ
あーっ
あーっ



あーっ
あーっ
あーっ



それどころか...
コイツのする事...
何でも許しちゃう...♡

駄目...全然
抵抗出来ない...♡

サイメン
コイツの魔力を
欲しがってる♡

アタシの靈基が...
からだ



あああ



で…
射精てる…♡

わ…
私の膣内に…
マスターの魔力が…♡



もう…
待たせすぎだよ
マスター…♡

こっちはすでに
身体が温まっ
ますよ…？





良いよジェーンっ
何回ハメても
全然飽きないっ♡

ぼぼぼ

あんっ♡
マスターってば…

そんなに…
がつつかなく
てもお…♡

はっ♡
オマ○コは
逃げたりしない
よお…♡



こんな
気持ち良い事
知らないなんて…

はっ♡
きゃっ

きゃっ
きゃっ

はっ♡
びん

あぁ

ユニヴァースの
サーヴァント
損しすぎだよねっ♡

あぁ



ここに楽園が
完成した

んんん

んんん

んんん



は あ…



あう…？

ほら…
イシユタル…

ぽんぽんぽん

三者三様の雌マ〇〇を
代わる代わる味わう
夢のような日常

ハンター稼業の
合間の時間は
殆どが魔力供給

食欲に代わり性欲が
彼女達の日々の
パフォーマンスを
向上させる

故に

ちゅぽちゅぽ
ちゅぽちゅぽ

Nipple suck...
Amazing

俺の昂ぶりを

彼女達はいつでも
受け止めてくれる♡



嗚呼…

これを
銀河の楽園と
呼ばずして
何と呼ぼう…？

このまま元の世界に
帰らずともこの柔肉の
香りに包まれる日々を
続けるのもアリかも…♡



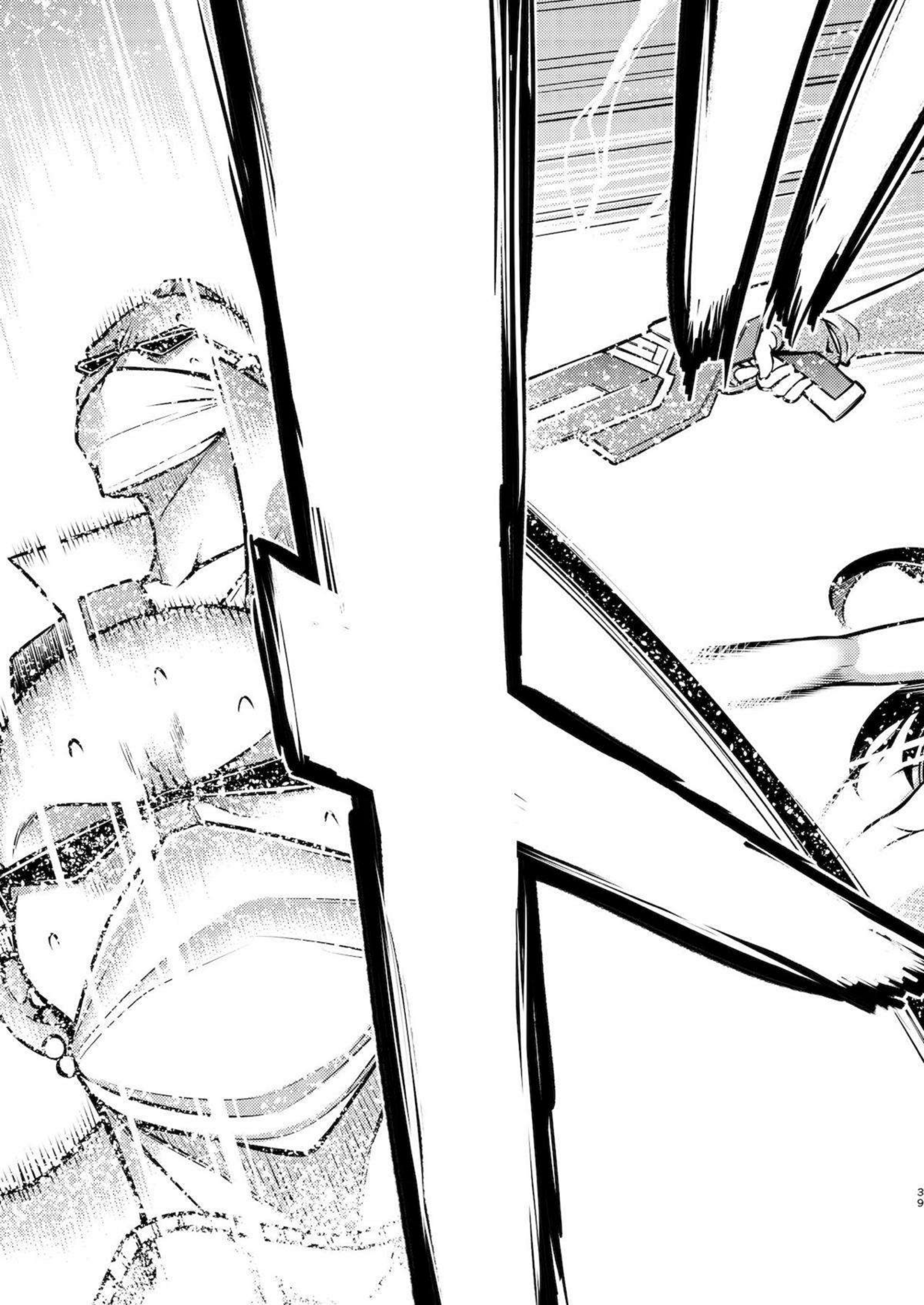
大ネトラビュヤ
TINDERON!!

ハンターこそな手前HARDで
間違い無…

ゴゴゴ

ドカドカドカ







ちよっつ
三人揃って
Basterして
どうすんのよっ!?

何を言います?
セイバー相手に
全力投球は当然
でしょう?

ねえそれより
今空いた穴から
マスター吸い出され
ちゃったけど良いの?

ちよっ!?

うん
やっぱり
帰ろう

虚空に
漂いながら俺は
そう決意した



Gardens of Galaxy

発行元：STUDIO TIAMAT
発行日：2021/12/30
E-mail：tanabe@studiotiamat.sakura.ne.jp
URL：http://studio-tiamat.sblo.jp/
※無断閲覧・転載禁止